

Gohowan News

だごぼぼはん
だよりのり

発行 真宗大谷派 常 入 寺
富山市東老田787番地
電話(076)436-0816
FAX(076)436-2766
携帯090-3764-3983
発行責任: 青井和成

御文をいただく 其の三七

五帖目第三通⑤

それ在家の尼女房たらん身は、なにのようもな
く一心一向に阿弥陀仏をふかくたのみまいらせ
て、後生たすけたまえともうさんひとをばみな
みな御たすけあるべしとおもいとりて、さらに
うたがいのこころゆめゆめあるべからず。これ
すなわち弥陀如来の御ちかひの他力本願とはも
うすなり。このうえにはなお後生のたすからん
ことのうれしさありがたさをおもわば、ただ南
無阿弥陀仏、南無阿弥陀仏と、となうべきもの
なりあなかしこあなかしこ。

弥陀の誓いゆえ

生死の苦海ほとりなし

ひさしくしづめるわれらをば

弥陀弘誓の船のみぞ

のせてかならずわたしける

これは私たちの宗祖親鸞聖

人がお作りになつたうたで

す。阿弥陀如来の救いを船

にたとえられて歌つておら

れます。私たちの南無阿弥陀

仏と念仏申し往生を願う

歩みは体を鍛えたり精神を

鍛えたりして目的地までゆ

ける体をつくあげて私たち

の努力や能力によって目的

地までゆくような教えでは

なく、目的地で船で行く

ようなものだと教えてくだ

さつているお歌です。今親

鸞聖人が生きておられたな

らばもしかしたら、弥陀の

救いを飛行機や新幹線のよ

うなものだとお喩えになら

れたかもしれません。走っ

たり歩いたりして目的まで

行くのではなく、舟や新幹

線に乗れば、後はお任せ、
座つていれば阿弥陀さんが
目的地であるお浄土まで運
んでくださるといふことで

す。なぜ歩いたり走つたり

せずとも乗つてしまえばあ

と座つていれば目的地まで

行つてしまふ船のようなも

のなのかといえは私を浄土

に生まれさせるといふのが

阿弥陀仏という仏様の仕事

だからです。このままでは

救われがたき私たちをなん

とかすくい取らなければな

らないと強く願われわざわ

ざ仏となられた仏様の願

いだからです。この船に乗る

まではなかなか本当に目的

地に着くのか信じがたく乗

る勇気が湧かないのが私た

ちですが、ここに乘る勇気

も私に阿弥陀如来様は植え

付けようと努力なさつてお

られます。

こんな時代だからこそつながりを大切にしたい!
だから

月参りの時忙しくなかつたら、

お茶を飲みながら

何か話してみませんか?

お天気の話しかできませんが…

よろしくお願ひいたします。



椅子を貸し出します

常入寺には参詣用にお座敷用のいすが40脚以上あります。ご法事の時など足の悪い方々のためにこの椅子をお貸しもさせていただきます。(但し、お寺の行事がない時) ぜひご利用ください。また大型ストーブ、皿、コップ、大鍋などもお貸しできます。貸出料は無料です。

今年のお文 五帖第三通

それ○在家の尼女房たらん身は●なにのよう
 もなく 一心一向に○阿弥陀仏をふかくだの
 みまいらせて●後生たすけたまえと もうさ
 んひとをば●みなみな御たすけあるべしと
 おもいとりて●さらにうたがいのこころゆ
 めゆめあるべからず●これすなわち弥陀如
 来の御ちがいの○他力本願とはもうすなり
 ●このうえには なお後生のたすからんこと
 の○うれしさ ありがたさを おもわば●ただ
 南無阿弥陀仏、南無阿弥陀仏と○となうべき

ものなり●あなかしこ あなかしこ。

●…一呼吸置く、一字前を一音下げる

○…一呼吸置く

お文(おふみ) …蓮如上人(一四一五〜一四九九)がお念仏の教えをわかりやすくお
 伝えくださるために私たち門徒にあててられたお手紙をお文とい
 います。お西(本願寺派)では御文章(ごぶんしよう)といいます